

イベント開催のお知らせ

各イベントや講座の詳細は、当センターホームページに掲載しています。メール、FAX、お申込みフォームにてお申込みください。参加費は無料です。会場はコムズ(松山市三番町六丁目4番地20)です。オンライン開催の場合は、参加者のメールアドレスに前々日までにご案内いたします。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントや講座の開催日時や内容等変更する場合があります。

10/24 NPO法人

14:00 -16:00 会計基礎講座



NPO法人の必要な日々の会計作業の一連の流れ(仕訳の仕方・帳簿のつけ方)を理解し、実践できるようにする講座です。

場 所
コムズ3階
会議室2

対 象
NPO団体、設立を検討している方、会計担当者等 20名

◆申込フォーム◆



<https://forms.gle/icaNeWChewKKX6i9>

11/19

14:00 -16:00



NPOのための プレゼンテーション 講座

自団体の活動報告や助成金獲得に必須となるプレゼンテーション。「伝えるべきこと」+「自分の伝えたいこと」を訴える力を習得しましょう。

場 所
コムズ4階
視聴覚室A

対 象
自団体をもっと魅力的にPRしたい方等 20名

◆申込フォーム◆



<https://forms.gle/VnobTC4t5mKagcgV6>

12/24 NPOの助成金

13:30 -15:30 チャレンジ講座



市民活動で必要なお金の獲得方法のひとつ「助成金」。手続きが難しいのではと、応募を迷っているあなたにぴったりの講座です。

場 所
コムズ3階
会議室2

対 象
助成金について知りたい、申請したいNPO団体の方等 20名

◆申込フォーム◆



<https://forms.gle/twiN9RjkhkQphgW67>

1/23

13:30 -15:30



NPO法人 設立講座 全2回

NPO法人になるために多くの手順と書類作成に必要な基礎知識を実際の書類をもとに解説します。

場 所
オンライン

対 象
NPO法人の設立を準備中の方等 20名

◆申込フォーム◆



<https://forms.gle/Htcxp7Hg5aDMZGt8>

サポセンだよりに関するお問い合わせは、まつやまNPOサポートセンターまで。

まつやまNPOサポートセンター

まつやまNPO 検索

〒790-0003 松山市三番町六丁目4-20 コムズ内

Tel 089-943-5790 Fax 089-943-5796

Email : pico@npo.coms.or.jp HP <http://www.npo.coms.or.jp/>

Blog <http://blog.canpan.info/saposen/>

受付時間 平日 9:00~18:00 日祝 9:00~17:30

休館日 毎週日曜日(祝日の場合はその翌日) 年末年始(12月29日~1月3日)



まつやまNPOサポートセンター 情報誌
matsuyama npo magazine

サポセンだより

2021
秋号

2P 特集

NPOも活用できる
インターネット広告
の種類とポイント

5P

令和3年度まちづくり提案制度
次世代育成支援事業 採択団体決定

6P

松山市市民活動推進補助金 採択団体活動報告

7P

センター主催NPO交流会 出前講座 開催

8P

イベント開催のお知らせ

特集

NPOも活用できる

インターネット広告の種類とポイント

インターネット広告とは、WebサイトやSNS、検索サイト、スマートフォンのアプリなどに掲載される広告のことです。近年、企業を中心に利用数が伸びています。一方、利用方法がわからない、広告費をどれくらい使えばいいかわからないなどの理由から、NPOでの利用は伸び悩んでいます。また、ボランティアグループと思われることが多いNPOが広告費を使っているのかという不安もあります。コロナ禍で外出を控え、自宅でインターネット上のサービスを利用する人が増えています。そこで、NPOの活動を多くの方に知ってもらうためには、インターネット広告の利用が有効だと思います。今回の特集では、NPOも活用できるインターネット広告の種類やポイントなどを紹介します。

インターネット広告の特徴

少額の予算ではじめられる



インターネット広告では、広告費の支払い方法として、「広告が表示された回数によって費用が発生」、「クリックされてはじめて費用が発生」、「購入・契約に結びついたら費用が発生」など様々な課金方式があります。クリックされたときの単価や広告費全体の上限を設定することもできるため、比較的少ない予算ではじめることができます。

ターゲットを絞りやすい



閲覧者が検索したキーワードや検索履歴、位置情報、登録した居住地、年齢、性別などの個人情報をもとに、商品やサービスに興味がありそうなターゲットにインターネット広告を配信することができます。ターゲットや配信したいコンテンツに合わせて、複数用意した広告の種類から、より閲覧者の興味に近いものを選んで配信することもできます。

広告の効果を測定しやすい



インターネット広告では、広告の閲覧数やクリック数、広告経由の問い合わせ数などのデータから、宣伝の効果を詳しく分析でき、最適な広告の方法を選択することができます。

広告をはじめた後でも調整がしやすい



テレビや新聞などの従来の広告では、一度広告をはじめると修正は難しいのですが、インターネット広告では、検索キーワードや設定を変更し、より効果が高めることができます。また、最も効果のある内容に絞ったり、配信のタイミングを調整することもできます。

インターネット広告の種類

インターネット広告には、様々な種類があります。その中でも主に使われている広告をご紹介します。



リスティング広告

検索エンジンの検索結果ページに、検索ワードに関連して表示される。



記事広告

WebサイトにPR用の記事を掲載する。



ディスプレイ広告

画像、動画、テキストがWebサイトやアプリの広告枠に表示される。



動画広告

動画で商品やサービスのPRを行う。



ネイティブ広告

Webサイトなどでコンテンツに同化する形で掲載される。



メール広告

文章やリンクがメールの冒頭や最後に掲載される。また、メール内容全体が宣伝になっている。



純広告・バナー広告

Webサイトに設けられた広告枠を買い、一定期間掲載される。



デジタル音声広告

音楽配信サービスやインターネットラジオなどでコンテンツの合間に流れる。

リターゲティング広告

過去にWebサイトを訪問した閲覧者に宣伝を表示する。

リワード広告

広告を通じて成果として設定した行動をとった閲覧者にポイントなどで報酬が支払われる。

アフィリエイト広告

成果報酬型のインターネット広告全般を指し、広告主が設定した成果を閲覧者が達成したときに、サイト運営者に報酬を支払う。

SNS広告

TwitterやFacebook、Instagram、LINEなどSNSに配信する。

インターネット広告を利用するポイント

インターネット広告を利用する時には、どんなことを意識したほうがいいのか、主なポイントをご紹介します。

point

01 ターゲットを具体的に決めておく

自分たちの広告は誰に対して配信するのか、年齢や性別、位置情報などをもとに具体的にターゲットを決めておきましょう。そうすることで、メディアやキーワードを選びやすくなります。

point

02 広告先のメディアを慎重に選ぶ

ターゲット層がどのメディアやツールをよく利用しているのかを事前に調べておきましょう。例えば、LINEは幅広い年代で、Facebookは30代、Twitterは20代が多いなど、傾向があります。

point

03 最適なキーワードを選ぶ

主にリスティング広告のポイントになりますが、ターゲットがどんなキーワードで検索しているのかを検討し、選びましょう。

検索数が多いキーワードであれば、その分ニーズもありますが、ライバルも多くなるという点にも注意しましょう。

point

04 ランディングページ(LP)を作成する

広告をクリックすると移動先として表示されるランディングページ(宣伝したいことを詳しく書いたページ、略称LP)を作成します。LPを用意することで、サービスを利用する、会員を増やすなどの目標の達成に繋がります。

point

05 入力フォームをわかりやすい内容にする

入力フォームとは、宣伝されたサービスを利用するために個人情報などを入力する欄のことです。

閲覧者にわかりやすい入力フォームにすることで、情報のやり取りがスムーズになり、閲覧者の希望にあったサービスを提供しやすくなります。

point

06 設定を定期的に見直す

インターネット広告の多くは、広告をはじめた後に設定を変えることができます。広告の効果を随時分析して、キーワードの追加や変更、LPの調整、ターゲットの変更などを行います。目標達成に向けて、改善と実行を繰り返しましょう。

まとめ

どんな人をターゲットにするかによって、効果的な広告は変わります。それぞれの広告の特徴を知って、上手に活用していきましょう。

01 令和3年度まちづくり提案制度 報告 次世代育成支援事業の採択団体が決定しました!

松山市では、市民活動を推進するため、「松山市民活動推進条例」に基づいて「松山市民活動推進基金」を設置し、市民の皆様から寄せられた寄付金と同額の市費を合わせ、NPO団体の活動に対する助成を行っています。令和3年度に松山市内で活動する小学生から大学生を対象として補助を行う「まちづくり提案制度(次世代育成支援事業)」に採択された各団体の事業をご紹介します。各団体の活動にご注目ください。

▼ 次世代育成支援 11団体

(順不同、敬称略)

団体名	事業名
1 味生IIサックス絆	届け!感謝の気持ち、あなたのもとへ!
2 小野中学校生徒会	SDGs!小野中モデル ~小野から松山へ、身近なことから世界へ広げよう~
3 チームSave Our Future	みんなで守る地域の未来プロジェクト ~災害に強く住み続けられることができる地域づくりを目指して!!~
4 松商地域ビジネス科4期生2021	Welcome to Matsuyama~松山観光スポット巡り~
5 ASOVIVA	~松山市は楽しいところいっぱい~ いつでも遊べる!みんなの遊び場MAP
6 学びのだいばーしー	すごいぞ!松山の学びの多様性!!集まれ~いろんな学校!!!
7 「子どもの権利条約」啓発委員会	子ども発!国連「子どもの権利条約」を愛媛の子どもとおとなに届けるプロジェクト
8 マドンナbloom♡	愛顔をもっと広めたい!シトラスRE・BORNアートプロジェクト
9 愛媛大学キャリア・サバントチーム	自分デザイン・はじめの一步! ~自己理解から始めるキャリアデザイン~
10 地域活性団体しまいる	イベントを通して地域住民との交流と活性化
11 雪ウサギ	絵本でつながる地域の輪

令和3年度まちづくり提案制度(次世代育成支援事業)審査会

7月4日に松山市男女共同参画推進センターで、令和3年度まちづくり提案制度の次世代育成支援事業に応募した団体の審査会がありました。

松山市長の挨拶では、これからの松山を担う若い人たちにに対して大きな期待をしているとの話がありました。その後、小学生から大学生の計11団体が元気な声で、それぞれの活動についての思い、計画などを発表しました。熱心で丁寧に説明していた姿が印象的でした。これらの事業は、今年度中に取組まれます。事業では、ぜひ各団体の活躍を見ていただければと思います。



松山市民活動推進補助金 採択団体の活動報告

今年度、松山市民活動推進補助金採択団体の活動の様子の一部をご報告します。

「一粒米の会」

7月18日に「一粒米の会」主催「第10回ふるさと余土学『明治24年の子規と強嶺』講演会」を見学。あいにくの天気でしたが、松山市立子規記念博物館の竹田美喜総館長を講師に迎え、会場の席が満席になるほどのたくさんの地域の人が来られていました。盲天外への関心の高さがよくわかりました。子規と盲天外の関係性について、歴史文献が使われた分かりやすい解説に時間を忘れ、もっと聞きたいと感じる講演会でした。



特定非営利活動法人ハッピーハート

特定非営利活動法人ハッピーハートでは「きつぽう食堂はッピーハート」をコロナ禍のため、テイクアウトで月2回実施中。8月11日は、栄養士さん考案のカレーを提供。「野菜嫌いの子どもでも美味しく食べてほしい」という思いから、細かく刻まれたたくさん野菜、豚肉や大豆で動物性たんぱく質と植物性たんぱく質をバランス良く摂る工夫がされていました。食事の大切さを感じることができました。



特定非営利活動法人地域教育サポートの会

特定非営利活動法人地域教育サポートの会主催「まつやま異文化交流プロジェクト2021」を見学。このイベントは、7月31日～8月8日の間、全4回開催し、愛媛県内11校の高校生約50名とフィリピンの学生約40名が参加して、一緒に学びました。公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの活動を知る講義や愛媛県とフィリピンの高校生が協力して、日本の文化をテーマにプレゼンするなど実践的な交流を行うことができました。楽しいイベントでした。



地質・環境技術研究所

地質・環境技術研究所では、「地質技術者」のインフラ整備調査の映像教材を制作しています。

8月28日に松山市大井野町で「地盤の特性を調べる作業」のリハーサル撮影を山の斜面で行いました。岩の状態を確認し、苔の状態や割れ目の広がり、深さで落石の危険性を判定することができるそうです。道路で見かけるストーンガードもこのような調査の上で設置されていることが分かり、勉強になりました。



センター主催NPO交流会、出前講座を開催しました

センターでは、出前講座(出張講座)を含む様々な講座やイベントを開催しております。今回は、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底し、開催しました。

生石地区まちづくり協議会出前講座



生石地区まちづくり協議会からフードドライブについて知りたいという声があり、松山市環境モデル都市推進課の協力のもと、7月15日に出前講座「フードドライブ事業入門講座」を行いました。

環境モデル都市推進課からは、フードドライブの実例や今後の課題を説明しました。松山市では、家庭ごみのうち、賞味期限・消費期限切れなど手つかずのまま捨てられたものを食品ロスとして、家庭で余っている食品を持ち寄り、フードバンク団体が子ども食堂や福祉団体などに寄付する(フードドライブ)ことで食品ロスを減らし、ごみの減量につなげることを目指して活動しています。

当センターからは、松山市内で現在活動している子ども食堂の現状について説明をしました。子ども食堂には、お腹を空かしている子どものためだったり、子どもに必要な栄養バランスのとれた食事の提供するなど、それぞれ団体ごとに目的をもって活動をしていることをお伝えしました。

今後も松山市の各担当課と協力しながら、出前講座を行ってきたいと思います。



松山市民活動 事前研修

8月20日に市職員を対象とする松山市民活動体験研修の事前研修を行いました。市職員の市民活動団体と一緒に協働社会をつくる意識を高め、お互いに理解することを目的に毎年行っています。

研修では、NPOは営利を目的としない市民活動を行う団体であること、多様な市民活動がさらに活発になるよう支援する当センターの事業内容などをお話しました。研修に参加した市職員からは、団体設立の状況について質問があったため、具体的な団体の事業目的・活動などをお伝えしました。10月後半からは、市職員がNPOの活動に参加し、NPO職員と交流する実地研修を行う予定にしています。

NPO交流会

コロナにどう対応していきますか

7月31日にオンラインでNPO交流会を開催しました。NPOの関係者が集まり、「コロナにどう対応しているのか」をテーマに、コロナ禍での活動の話し合いをしました。

自己紹介のあと、愛媛県赤い羽根共同募金会、NPO法人みんなのダイス松山冒険遊び場、NPO法人ライフサポートアゴラなどからコロナ禍での活動事例をお話いただきました。施設の利用停止で困った話や子ども食堂でのテイクアウト希望が多いこと、利用者が困っていること、コロナ感染対策で生じる個人情報の管理など、コロナ禍でNPO活動に多くの影響が出ている様子を知ることができました。次回は、11月頃開催予定です。